

# 学びの創造

とても暑かった夏も終わり、やっと涼しくなり、新米が出回る季節になりました。大学でも、後期の授業も始まり、活気が構内にももどってきました。

今回は、9月にありました教育実践セミナーと国立大学教育実践研究関連センター協議会、また、3年計画の事業である「まなびの総合エリア」の進捗状況についても、報告することにします。

## 第18回教育実践セミナーを開催

今回のセミナーでは、「イチャモン研究」と称して、教職員と保護者のいい関係づくりに早くから注目してきた小野田正利先生（大阪大学大学院人間科学研究科教授）をお招きし、「学校と保護者のいい関係づくり」というテーマで講演とワークショップを行いました。これまでのセミナーとは異なり、平日のナイトセッションという形式で開催を試みてみました。土日のお休みをつぶさずに、勤務先を少し早めに出での研修もいいのではないかと考え、開催した次第ですが、約80名が参加され、会場は一杯になり、熱気のあふれる活発な活動が展開されました。



保護者と向き合う気持ちと職員のチームワークの大切を強調されたお話と、子ども・保護者・学校スタッフに別れてのグループ毎のロールプレイを通じた貴重な体験ができました。

## 第77回国立大学教育実践研究関連センター協議会に参加

三重大学において開催された「第77回国立大学教育実践研究関連センター協議会」に、姫野・石橋の2名の所員が参加してきました。参加機関の中で、秋田大学、横浜国立大学、愛知教育大学、京都教育大学、岡山大学の5機関からセンター名称変更を伴う改組の報告がありました。また、国の喫緊の課題を受けて、とりわけ、教育の情報化に関して、本協議会として、重点的に研究・研修を要する事項についての協議が行われました。次回は、2月18日に東京学芸大学で開催することになりました。

### まなびの総合エリア 始動

教員養成と現職教員の研修とを統合した豊かな学びの場や機会の提供を目指し、動き出しています。学部教員の協力のもとに、「あきた教職.net」の充実、そのシステムを活用した教職ポートフォリオの開発や教職実践演習へ向けた試行、あるいは出前授業や文科省指定地区小中学校の支援、小学校～高校までの校内研修会の支援等々について、精力的に動いています。

### 次回の教育実践セミナーは 12月4日

次回の教育実践セミナーは、以下のような内容での開催を計画しています。

第19回 教育実践セミナー：12月4日(土)

テーマ：「現代の子どもを取り巻く問題とその理解」

主な内容：当センター宮野素子による講演「現代の思春期・青年期心性の理解」「思春期における子どもの理解～ユング心理学の視点から～」とパネルディスカッションを予定

場所：VBLセミナー室